

2008夏学期ジュリー発表 夏、今後の研究の発展に向けて

7月28、29、30日の3日間、修士1年は初めての、2年はこれからの修士論文に向けての、そして博士課程は、一年に一度の成果発表の場である、夏学期末のジュリーが行われました。

【修士1年】 菊地原徹郎

「持続・自立可能な地方小都市再生に関する研究—福島県田村市をケーススタディとして—」

竹本千里

「重要文化的景観保護制度の課題と可能性についての考察(仮)」

土信田浩之

「伝統的建造物群保存地区内の修景事例における創造的な手法に関する研究」

中島和也

「都市計画・設計としてのアーバンデザインの展開とその今日的意義に関する研究」

西川亮

「広域遺産の保全のあり方に関する研究」

藤井高広

「都市の境界に関する研究(仮)—出雲市大社町杵築地区を対象として—」

六田康裕

「景観地区とその指定プロセスに関する研究(仮)」

ジャック ファリス

「コミュニティに対して市・区民農園の役割」

【修士2年】 蛸灰谷愛

「市民提案型協働事業の実態と課題に関する研究」

鎌形敏人

「丸の内における街区内通路の変遷と実態に関する研究」

亀長尚尋

「日本のコミュニティ・ビジネスにおけるインターメディアリーの活動の実際とその発展可能性」

北村修一

「小規模離島航路が発着する港町の空間特性～瀬戸内の港および周辺施設の利便性の分析～」

鈴木惇也

「伝統的建造物・市町村指定歴史的建造物・登録文化財の保護・修理の財源確保に関する研究」

大道亮

「2001年以降の都市計画道路の見直しの全国的な動向に関する研究(仮)」

平岡性

「景観づくりと住民意識との関係に関する研究—新宿区榎地区を対象として—(仮)」

増田圭輔

「町工場の配置に関する研究～大田区の事例～」

矢原有理

「地区計画と住民の自主規範を併用した動態的地区保全手法に関する研究—住民組織の役割と協議プロセスに着目して—」

山田渚

「水上アクティビティ活性化の観点から考えた都市内水域・水辺空間の現状と可能性に関する研究」

バンノイ ナッタポン

「町並み保存と地域復興に関する研究～佐原事例に～」

【博士課程】 金宗範

「韓国の中心市街地における活性化プログラムに関する研究」

リー クイン チー

「Pattern Diversification and Housing Typomorphology Transformation of Urban Village in Hanoi City」

ティアムスーン シリスリサク

「The notion of historic urban landscape」

鄭一止

「町並み保全型まちづくりにおけるエリアマネジメントに関する研究—地域組織間の役割分担およびネットワーク化に着目して—」

南知賢

「Study on Symbiosis of conversion design shown in Heritage of Industrial Modernization」

【博士中間発表】

永瀬節治

「近代における参詣空間の計画・形成に関する研究」

中島伸

「戦災復興区画整理事業による都市空間形成の特性と実態に関する研究—東京都戦災復興土地区画整理事業を対象として—」

馬場美彦

「Community Oriented Design Enhancement Urban Code as an Alternative to Urban Planning towards Sustainable Community?」

ウィモンラット ユイ

「Bangkok Traditional Urban Communities and Their Roles in Heritage Planning ,a Case of Yarn Banglamphu」



ジュリーでの発表の様子。写真はM2ナッタポン。

3年間の集大成—宋さんD論発表

D2 鈴木 智香子

北京オリンピックが開幕した8月8日、宋珍和さんの博士論文の審査会が行なわれました。論文タイトルは、『A STUDY ON THE ROLE OF CITYSCAPE MANAGEMENT SYSTEM OF MUNICIPAL LEVEL IN CITYSCAPE IDENTITY MANAGEMENT』。

東京23区の景観施策を対象に、自治体担当者のヒアリングを通して、Cityscapeという概念をもとに、整理・類型化した実証論文です。

審査会には、石川幹子先生、小泉秀樹先生、中井祐先生、窪田亜矢先生、西村幸夫先生が出席。西村先生からは、東京23区すべて網羅するという発想は、留学生ならではのものであるとのコメントがありました。また他の

先生からは、宋さん独自の切り口であるCityscapeの概念について、また欧米の景観論との比較についてなど、拝聴していた私たちにも参考になる示唆に富んだ議論が行われました。

これまでに宋さんは、日々努力を積み重ね、ものすごい集中力で研究に取り組んできました。宋さん、3年間本当にお疲れさまでした！

UDCT盛大にオープン

地方都市初のアーバンデザインセンターに大きな関心

北沢猛教授が中心となって展開するアーバンデザインセンターの第3弾「UDCT(田村地域デザインセンター)」が8月4日(月)、本格的にオープンした。当日行われたオープニングセレモニーには、関係者、報道陣を含め50人以上が集まり、地元の関心の高さが伺えた。

同センターは、駅前にほど近い商店街の空き店舗を学生自ら改装した小さな空間ではあるが、副センター長の田中大朗さん(当研究室OB)や市役所職員が常駐し、地元の方々とまちづくりについての意見交換やデザインを行う場として期待されている。

UDCTは、UDCK(柏)やUDCY(横浜)とは異なり、地方都市における最初のアーバンデザインセンターの事例である。地方都市再生に向けてどのような役割を同センターが担えるか、今後の展開が各方面から注目されている。

text_kikuchibara



シカゴの学会に参加

IPHS - 13th INTERNATIONAL PLANNING HISTORY SOCIETY CONFERENCE

D1 鄭 一止



シカゴにて今年7月11日から三日間にわたって開かれたIPHSに馬場さん、南さん、私の三人で行ってきました。

2009年のシカゴ都市計画100周年に向かい、当時の計画内容や理論における議論を行いつつ、Public Versus Private Planning: Themes, Trends and Tensionsをテーマにした学会が開かれたのです。

まず、前日の夜には日本人を含め、日本に関して研究している人々を中心に開かれた Japanese Partyに参加しました。東京理工大の渡辺先生、九州大の秋本先生、元東大の先生で現在はトロント大の教授である Andre Sorensen先生など、先生たちに囲ま

れ、かなりの緊張組でしたが、自分の研究について先生たちと議論できる貴重な時間でした。

そして、本番の日には三人とも無事に発表を終わらせました。(発表題目は、Iiji Cheong, 「The Patterns of Machizukuri in Japan and Maulmandulgi in Korea on Historic Townscape Conservation: Focused on the Resident Organization」、Yoshihiko Baba「A History of Landscape Disputes in Kyoto」、Jee Hyun Nam「A Study on 'Self-Control' and 'Flexibility' of Mega structure Design」)

私が発表した「Japanese Planning in Comparative Perspective」のセクションでは日本人を含め、日本のまちづくりに興味を持つ多くの研究者たちが集まり、東部アジアの Community Buildingにおける各国の特徴や現状についての議論がありました。自分の論文の論理性や枠組みをより強く組み立てる機会だったと思います。

構想力キックオフ!!

M1 西川 亮

西村先生による都市空間の構想力の執筆へ向けたキックオフが去る7月22日に行われました。都市空間の構想力は、季刊まちづくりの全8回の連載に新たな視点を加えて、より多角的な視点で町を読み解くことを目的としています。参加メンバーであるM1は先日、町を読み解くことを目的に、本郷界隈の町歩きをしました。

メンバーはまず、夏の休暇を利用してプロジェクトで関わっている町など様々な町で「面白いと感じたところ」や「気になるところ」などを探します。皆さんも夏にどこかへ行かれてその町で面白い空間を感じたら、ぜひ参加してみたいかがでしょうか？



本郷町歩きの様子

都市デザイン研究室 8月の予定

- 8月23日 鞆プロジェクト展示会@瀬戸田
- 8月24日 鞆プロジェクトワークショップ開催
- 8月22-23日 佐原プロジェクトワークショップ開催
- 8月27-31日 高山プロジェクト現地調査

編集後記

text_hiraoka

この夏、世間でそして研究室でも超話題の、あの映画を見に行ってきました。現地を訪れたことのない私にはわからなかったですが、一緒に行った鞆pjメンバーは、あそこができて、あの場所はあれだ、などと盛り上がっていました。鞆に行ってから見ればよかったかなあ...